

理工総研「第 2 種・第 3 種行事」報告書

↑ どちらかに○を付けて下さい。

理工総研所長 殿

申請代表者氏名	後藤 正幸	印
申請代表者本属	創造理工学部経営システム工学科	
研究種別	プロジェクト研究	
関連研究課題名	次世代e-learningに関する研究	

シンポジウム・講演会等の名称 (邦 文)	第 10 回「次世代 e-learning」公開フォーラム
(英 文)	The 10-th Forum on Next Generation e-learning
開 催 日	2018 年 12 月 5 日 (水)
開 催 場 所	早稲田大学 早稲田キャンパス 26 号館地下多目的講義室
主催	早稲田大学理工学研究所特別研究「次世代 e-learning に関する研究」
共催／協賛	デジタルキャンパスコンソーシアム (DCC)
(シンポジウム・講演会内容) ※行事開催報告記事として理工総研ホームページに掲載しますので、概要を 500 字程度で記入ください。当日の開催状況がわかる写真 2～3 点を別途 JPEG ファイルにて提出願います。 本シンポジウムは下記の二部よりなる。 [第 I 部：テクニカルセッション] 理工学研究所 特別研究「次世代 e-learning に関する研究」の今年度前半の研究成果を発表した。テーマを『プログラミング教育の小・中・高・大の一貫教育』と設定し、「小・中学校におけるプログラミング教育の実践と課題」, 「本庄高等学院におけるプログラミング教育の取り組み」, 「大学におけるプログラミング可視化システムの効果」などプログラミング教育をテーマとした e-learning に関する多様なトピックについての発表が行われ、活発な議論が行われた。 [第 II 部：招待講演] 招待講演は DCC の月例会を兼ねており、向後秀明先生 (敬愛大学 教授 英語教育開発センター長 前文科省教科調査官) より、プログラミング教育と英語教育の学習指導要領の改訂についてご講演をいただいた。その後、木村松雄先生 (青山学院大学 教授 英語教育研究センター長) より、青山学院大学の一貫教育について ICT の活用なども含めてご講演いただいた。 写真：貼付別紙に掲載	
参加者数	総 数： 60 名 (学 内： 20 名 学 外： 40 名)

【収 支 決 算】第 3 種行事の場合は記入不要

収 入		
科 目	金 額	備 考
理工総研第 2 種行事補助金	円	
受託研究費	円	
指定寄付金	円	
	円	
	円	
	円	
	円	
合 計	円	
支 出		
科 目	金 額	支出科目（記載必須）・備考
	円	アイテムを選択してください。
	円	アイテムを選択してください。
	円	アイテムを選択してください。
	円	アイテムを選択してください。
	円	アイテムを選択してください。
	円	アイテムを選択してください。
	円	アイテムを選択してください。
	円	アイテムを選択してください。
合 計	円	

以上のとおり報告いたします。